



平成 30 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 ダイナパック株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉山喜久雄
(コード：3947 東証・名証第 2 部)
問合せ先 取締役常務執行役員 草野 雅夫
経営企画本部長
(電話番号 052-971-2651)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 8 月 6 日に公表しました平成 30 年 12 月期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	52,500	△60	230	680	68 円 77 銭
今回修正予想 (B)	52,400	△460	△120	430	43 円 49 銭
増 減 額 (B-A)	△100	△400	△350	△250	—
増 減 率 (%)	△0.2	—	—	△36.8	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 12 月期)	49,752	304	654	1,244	125 円 91 銭

2. 修正の理由

営業利益につきましては、国内既存顧客への販売が想定を下回ったことに加えて、7 月度にグループ化した旭段ボール(株)および 10 月に公表しましたマレーシアにおける Grand Fortune Corporation Sdn.Bhd.の株式取得に伴う M&A 費用約 2 億円の計上や、物流コスト、燃料費の増加により当初の予想を下回りました。

経常利益につきましては、営業利益の減少を受けて修正するものであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券売却に伴う特別利益約 5 億円を計上した一方で、経常損失の計上、固定資産の減損損失による特別損失約 2 億円の計上および繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の発生約 1 億円などの減益要因があり、予想を修正するものであります。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以 上